

震災から13年 写真で見る まちは今

令和5年3月～令和6年1月の歩み

令和5年

3月

- 農業再生に向けて「浪江町育苗施設」が完成
- 復興再生賃貸住宅「津島住宅団地」が完成
- 高瀬の「丈六公園」が完成し、元気な歓声に包まれる
- 室原地区の駐在所、津島地区の警察官立寄り所が開所
- 特定復興再生拠点区域の避難指示が解除される

4月

- 福島国際研究教育機構が設立され、ふれあいセンター内に仮設事務所が開所
- 津島地区で水素燃料電池車による移動販売を開始
- なみえ創成小学校に水素を燃料にして走るスクールバスが国内初導入
- ナミエウォーターが国際的な品質評価機関であるモンドセレクションで3年連続の金賞受賞
- 米国カリフォルニア州ロサンゼルス総領事公邸において国際環境会議のレセプションに参加し、浪江町の水素の取組と復興状況を伝える

5月

- 浪江町・ランカスター市・ハワイ郡で水素活用連携組織「Pacific Hydrogen Alliance」の設立に関する覚書を締結
- 水産業復興の一步につながる「鮎の稚魚放流体験会」が12年ぶりに行われる
- 福島国際研究教育機構と「連携協力に関する基本合意書」を締結

6月

- 「陶芸の杜おおぼり」が再開し、大せとまつりを開催

8月

- 行政事務の改善・効率化に向けた「浪江町DX推進検討会」が始まる

9月

- 安心して子育てできる町へ「浪江診療所で小児科の診療」が始まる

10月

- 今春避難指示が解除された津島地区において「標葉祭り」を開催

11月

- 津島地区で恒例となっていた産業まつりが「つしま肉まつり」として13年ぶりに開催
- 未来を担う子供たちの主権者教育の一環として「第1回浪江町子ども議会」を開催

12月

- 「浪江町特定帰還居住区域復興再生計画」を策定

令和6年

1月

- 「浪江町特定帰還居住区域復興再生計画」が国に認定される

長く続いたコロナ禍の収束を願いながら幕を開けた令和5年は、町民の帰還に向けて特定復興再生拠点区域の避難指示が解除されたことや、町内各地で催しが行われるなど多くの人でにぎわうようになりました。

震災の経験からグリーンエネルギーによる復興まちづくりを進める浪江町の水素社会実現に向けた取組を世界に発信した国際環境会議への出席や、町民の帰還に向けた浪江町特定帰還居住区域復興再生計画の策定など浪江町の動きに注目が集まった一年間の歩みを振り返ります。



多くの人でにぎわった標葉祭りin津島



夢とまちづくりへの期待が響いた
第1回浪江町子ども議会